

広島発MBA初の巣立ち 県立広島大学院

て地域産業を支える人材を育てようと、2016年4月に発足した。履修の柱に①農業

中国地方5県で唯一の広島大学院経営管理

広島キャンパスで学位を受けながら学べた。

経営②中小企業経営③

一、経営学修士(MB) 研究科の1期生27人
A) を取得できる県立が、広島市南区の同大

記を受け取った。30代、今後の仕事で実践し、
60代の修士生は、研究社会に還元したい」と
成果を社会で役立てる意気込んだ。

医療・介護経営④ベンチャービジネス⑤の4分野を据える。

と誓いを新たにしました。研究科は、先進的な
全員が学位記を受けビジネスモデルを築い

(教連孝匡)

取った後、角帽を投げ上げて喜びを表現した。中村健一学長は「働

きながら高い志で学んだ皆さんの力で、広島や日本をより良くしてほしい」と激励した。

安佐南区の製薬会社員柴田大輔さん(36)は、高齢化が進む中で



角帽を投げ上げて喜ぶ修士生たち

や同期生の視点に刺激

の製薬会社の新たな役割を研究した。「教官